

# 県小教研見附市 特別活動部 研修報告

見附市特別活動部長 大滝みどり（上北谷小）

## ◎ 本年度研修の目的

見附市は学校数が少なく、小回りの効く地域である。その特性を生かし、各校、各中学校区の特色ある取組を情報交換し、社会性の育成を標榜した児童・生徒の主体的な児童会・生徒会活動が展開されるようにする。

1 日 時 平成23年10月6日 15:30～16:45

2 会 場 上北谷小学校

## 3 研修内容

各校の特色ある特別活動の取組について、レポートを持ち寄り情報交換し合う。

主な情報交換

### ○ 異学年交流活動の工夫（主に小学校）

- ・ 学級の間人関係を深める時期にはそぐわない。展開する時期を全校で共通理解した上で進めることが大切。
- ・ 体力テストを異学年集団で実施することで、上学年児童が下学年児童に教えるなどの交流を促進するとともにテストの効率化を生み出す実践例があった。体力テストと同様に、全校が同じ取組をするのだが学年ばらばらで実施していた活動を見直し、異学年交流の可能性を探るとよい。

### ○ 幼児・高齢者・地域住民との交流活動

- ・ 行事等に招待するという活動が多いが、フラワーロードをともにつくるなど、児童・生徒にも、交流相手にも生き甲斐や楽しみがある双方にメリットがある活動をもっと工夫したい。

### ○ 小中連携の活動

- ・ いじめ根絶にかかわる小中連携の取組を全中学校区で実施している。あいさつ運動を同時期に展開し、小中の子どもが互いに登校時に訪問し合うなど、児童・生徒に交流の場がある活動を今後も開発していきたい。



## 4 成果と課題

- 市内全校が、社会性育成に向けた交流活動の工夫を紹介し合うことにより、目的に応じた活動のバリエーションを広げることができた。
- 児童・生徒と、学校外の交流相手双方にメリットのある交流活動について、実践開発状況を情報交換したい。